

令和7年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	14	議席 番号	18	氏名	鈴木 弘 議員	1 / 1
発言項目				要 旨		答弁者
1	睡眠時無呼吸症候群（SAS）の検査推進について			睡眠時無呼吸症候群（SAS）とは、睡眠中に無呼吸や低呼吸を繰り返すことにより、熟睡できないため、日中に過度の眠気を生じるほか、心筋梗塞や脳卒中など命に係わる合併症を引き起こしやすくなるといわれている病気である。また、夜間突然死などとの関連が指摘され、交通事故につながることも知られている。成人男性の3～7%、成人女性の2～5%に見られると推定されている。富士宮市として早期発見と治療につなげるための検査の推進を図るべきと考え、以下伺う。 (1) 当市として睡眠時無呼吸症候群をどのように認識しているか伺う。 (2) 健康診断時の問診やオプションとして検査を導入することは可能か伺う。 (3) 市民に対して症状・検査方法・医療機関の情報を発信することが重要と考えるが市の考えを伺う。 (4) 生活習慣病などとの関連も深いため、「予防医療」の観点から継続的な取組が必要と思うが、市の考えを伺う。		市長 副市長 教育長 関係部長
2	市民サービス向上、業務改善のためのDX取組状況について			令和4年度より5か年計画で「富士宮市DX推進計画」が実施されている。本年度は推進計画の4年目に当たる。そこで現在の状況を伺う。 (1) この推進計画により大きく変化した点を伺う。 (2) 効果をどのように把握しているか伺う。 (3) 以前、ノーコードについて質問したが、ノーコードの導入、活用状況を伺う。 (4) ノーコードについて今後の取組方針を伺う。 (5) 生成AIについての取組を伺う。 (6) 職員向けの研修や支援体制はどうか伺う。		市長 副市長 教育長 関係部長
3	図書館とその事業について			(1) ブックスタート事業を行っているが、さらに本に親しんでもらうため、セカンドブックプレゼントを行えないか伺う。 (2) 中央図書館の駐車場からの入り口の通路に雨除けのための屋根があった方がいいと思うが、市の考えを伺う。		市長 副市長 教育長 関係部長